

こうしゅつ

市議会広報

35号

2014. 7. 30 発行
山梨県甲州市議会

- 特集 6月定例会レポート 議案の審議 P2～
・雪害緊急対策事業費34億円を補正計上
- 議案等議決結果一覧表 P4
- 市民フォーラム「わたしにとっての生涯学習」 P5
- 一般質問 9人の議員が市政を問う！ P6～
- 委員会レポート P16～



ゴール目指してドリブル突破

雪害緊急対策事業費34億円を補正計上

一般会計予算総額は210億円を突破

平成26年甲州市議会6月定例会は、6月10日から6月27日までの18日間の会期で開かれ、条例案、各会計の補正予算案、人事案、請願、議員発議案など25件の事件について慎重な審議を行いました。
主な議決内容を要約してお伝えします。

旧菱山保育所を 児童センターとして活用

◆甲州市児童センター設置及び管理条例及び甲州市放課後児童健全育成条例の一部を改正する条例制定については、勝沼町菱山地区における子育て家庭の支援及び児童の健全育成を図るため、旧菱山保育所に菱山児童センター・菱山児童クラブを設置することについて所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆甲州市条例等の一部を改正する条例制定については、地方税法等の一部改正に伴い、市税条例等について、法人課税、軽自動車課税等について所要の改正を行う必要があるため制定

するもので、可決しました。

◆甲州市鈴宮寮設置及び管理条例の一部を改正する条例制定については、市の設置する救護施設鈴宮寮の管理について、地方自治法に基づく指定管理者制度を導入できるよう、指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲その他の必要な事項を定める所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆平成26年度甲州市一般会計補正予算(第2号)は、1081万1000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ174億6600万6000円としました。歳入内容は、**農林水産業費**として雪

害による有害獣防護柵の被害箇所の修繕費等に1081万1000円を追加し、歳入内容は、**繰越金**に同額を追加するもので、可決しました。

◆平成26年度甲州市一般会計補正予算(第3号)は、35億5496万5000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ210億2097万1000円としました。主な歳入内容は、**農林水産業費**として雪害緊急対策事業費等に34億1150万2000円、**土木費**として道路維持事業費等に5950万円、**教育費**として中学校施設管理費等に7544万円を追加するものです。主な歳入内容は、**地方交付税**に3億円、**国庫支出金**に6974万1000円、**県支出**



18日間の会期で開催された6月定例会。大雪により損壊した農業施設の撤去や再建事業費34億円が計上された補正予算案を可決した

金に26億3391万9000円、**繰入金**に3億円、**繰越金**に2億2141万9000円、**市債**に2580万円を追加するものです。本

会議では、「可決すべきもの」として各常任委員会の委員長報告に異議が出されませんが、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。

■委員長報告に反対討論

野尻陽子 教育費・社会教育総務費に、わだつみ平和文庫の土地購入費500万円が計上されている。人口減少が進み、今後、合併特例終了で地方交付税が減額される時代に、新たな公共施設を所有することは慎重に検討すべきである。

◆**人権擁護委員**に、佐藤光正氏(67・大和町日影)を推薦することに同意しました。

議員発議

2件の意見書を関係省庁へ提出

▼「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の提出を求める請願は、①容器包装の拡大生産者責任を強化し、リサイクルの社会的コストを低減するため、

関係省庁へ意見書を提出しました。

分別収集・選別保管の費用について製品価格への内部化を進めること。②容器包装のリデュース(発生抑制)、リユース(再利用)の2Rの環境教育を充実し、グリーン購入やリユースをさらに普及するための環境整備を求めたもので、本会議において全会一致で採択され、

▼30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願は、①少人数学級を推進し、具体的学級規模は、ゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。②教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。③教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算の拡充を求めたもので、本会議において全

会一致で採択され、関係省庁へ意見書を提出しました。

▼集団的自衛権行使を閣議決定で容認することに反対する意見書の提出を求める請願は、総務常任委員会に付託して審査しました。

▼憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認に反対する意見書提出を求める請願は、総務常任委員会に付託して審査した結果、議会議決の結果、賛成少数で不採択となりました。

▼「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願は、建設経済常任委員会に付託して審査した結果、委員長報告のとおり、本会議においても不採択となりました。

▼3月定例会に提出された特定秘密保護法の撤廃を求める意見書の提出を求める請願2件については、総

務常任委員会において議会議決中に審査を行いました。本会議では、各請願を不採択とした総務常任委員長の審査報告に異議が出され、結果、委員長報告のとおり不採択となりました。

▼委員長報告に反対討論
野尻陽子 本法律の最大の問題点は、閣僚など行政機関の長が指定する秘密について、「何が秘密かも秘密」という点である。また、「その他安全保障に関する重要なもの」という表現があり、指定される秘密が恣意的に拡大解釈される恐れがある。

◆甲州市学校給食センター消耗品(食器籠・食器等)購入契約締結については、随意契約により、契約金額は5378万4000円、相手方は株式会社日新厨房企画(中央市山之神)となりました。本会議では、「可決すべきもの」として教育民生常任委員会の委員長報告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。なお、

川口信子 本法律は国民主権の原則に反し、国民を重罰で脅かす基本的人権の侵害、国家安全保障会議の設置と一体で、戦争をする国を目指す平和主義の侵害という観点から、憲法の根本原則に反する法律である。

■委員長報告に賛成討論
矢野義典 各請願は特定秘密に関して、知る権利を侵害する懸念を抱いているが、本法第22条第2項により、報道機関の取材や報道の自由は十分に担保され、

■委員長報告に反対討論
野尻陽子 既存の食器等を使用しないのならば、当初の厨房設備機器購入の際に併せて入札にかけ筋である。施設完成間近な本定例会に追加議案として提出され、契約価格が合理的かを判断する資料がない。

■委員長報告に反対討論
野尻陽子 既存の食器等を使用しないのならば、当初の厨房設備機器購入の際に併せて入札にかけ筋である。施設完成間近な本定例会に追加議案として提出され、契約価格が合理的かを判断する資料がない。

「国民の知る権利」も保障されることになっている。

山梨県広報コンクールで優秀賞を受賞



山梨県広報協会主催の山梨県広報コンクールに新設された「議会広報部門」に当市議会広報30号を応募した結果、優秀賞を受賞しました。

今後読みやすく、わかりやすい、読者の立場に立った編集を心がけ、市民の皆さまに親しまれる広報紙の発行を目指します。

◆3月定例会に提出された特定秘密保護法の撤廃を求める意見書の提出を求める請願2件については、総

務常任委員会において議会議決中に審査を行いました。本会議では、各請願を不採択とした総務常任委員長の審査報告に異議が出され、結果、委員長報告のとおり不採択となりました。

◆甲州市学校給食センター消耗品(食器籠・食器等)購入契約締結については、随意契約により、契約金額は5378万4000円、相手方は株式会社日新厨房企画(中央市山之神)となりました。本会議では、「可決すべきもの」として教育民生常任委員会の委員長報告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。なお、

平成26年6月定例会 議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠) ※中村勝彦議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	高畑	廣瀬	黒川	相澤	岡部	日向	佐藤	川口	中村	丸山	矢野	夏八木	古屋	古屋	平塚	野尻	岡	廣瀬	結		
			一幸	明弘	武雄	俊行	紀久雄	正	大輔	信子	勝彦	国一	義典	盛男	久	匡三	義	陽子	武男	宗勝	果		
承認案	承認第2号	甲州市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
条例案	議案第42号	甲州市税条例等の一部を改正する条例制定について																				可決	
	議案第43号	甲州市児童センター設置及び管理条例及び甲州市放課後児童健全育成条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第44号	甲州市鈴宮寮設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第45号	甲州市学校給食センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について																					
補正予算案	議案第46号	平成26年度甲州市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第47号	平成26年度甲州市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決	
	議案第48号	平成26年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)																				可決	
	議案第49号	平成26年度甲州市萩原山財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他の案件	議案第50号	甲州市学校給食センター消耗品(食器等)購入契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
人事案	議案第51号	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
報告事項		平成25年度甲州市一般会計継続費繰越計算書									議長												
		平成25年度甲州市一般会計繰越明許費繰越計算書																					
		平成25年度甲州市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書																					
		平成25年度甲州市一般会計事故繰越し繰越計算書																					
提出書類		甲州市土地開発公社に係る平成26年度事業計画及び会計予算並びに平成25年度事業及び決算に関する書類																					
請願	請願第1号	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書の提出を求める請願	●	●	●	●	●	○	●	○		●	●	●	○	○	●	○	●	●		不採択	
	請願第2号	特定秘密保護法撤廃を求める意見書の提出を求める請願	●	●	●	●	●	○	●	○		●	●	●	○	○	●	○	●	●		不採択	
	請願第3号	集团的自衛権行使を閣議決定で容認することに反対する意見書の提出を求める請願	●	●	●	○	●	○	●	○		○	○	●	●	○	○	○	○	●	●		不採択
	請願第4号	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
	請願第5号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願																					
	請願第6号	憲法解釈変更による集团的自衛権行使容認に反対する意見書提出を求める請願																					継続審査
	請願第7号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		不採択
議員発議案	発議案第2号	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	発議案第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書																					

※請願第8号は、請願取り下げとなりました。

テーマ「わたしにとっての生涯学習」



学び

小林澄子さん（塩山三日市場）

小学校からの同級生が、高校の書道教師を終えた今も、講師を勤めながら仲間と作品展を開いています。彼女の「書」を見るにつけ、いかにも彼女らしい生き方だとうらやましくさえ思う。そして、初めて彼女に私の琴の演奏を聴いてもらおうと思った。5月18日、彼女は聴きに来てくれた。そして癒された。山田流箏曲は古典が多く、中でも歌ものは難しいとされる。家元である山勢松韻先生は人間国宝で、文化功労賞も受賞され、その芸たるや素晴らしい限りである。その芸に少しでも触れることができる東京名流演奏会に松韻会の一員として出させていただくことを励みに、山梨の春秋の演奏会に出ている。「続けること学ぶこと、それは一生」と心して。



有終の美

宿澤 猛さん（塩山上於曾）

「これからの人生帰り道、来た時よりも楽しく心豊かに健やかに」と自筆の机上、私の生涯学習はボランティア活動に終始してきた。山梨中銀日下部支店長を定年退職後、亡妻の協力を得て、区長、民生委員、社協会長、加納岩病院参与、障害者更正施設名誉顧問、千野保育園監事、媒酌11組の世話もした。朝ドラ・花子とアンの腹心の友ではないが、埼玉で不動産業を終え、大藤に移住された中大の後輩、小川弘一氏とライオンズクラブでの一期一会奇遇の出会い。日本画教室・泉の会に誘われ、月二回通い、旅行も共にしている。生活信条は「知足利他で人のために尽くす」です。来春米寿を謙虚な心で迎え、書道、読書で人生の最期を有終の美で飾る心境です。



知識の向上と人格形成

山本 貢さん（勝沼町小佐手）

青年時代には考えもしなかった「生涯学習」が、ここ数年で私自身の身近なテーマにもなっています。何かを勉強するのでもなく、自分でも楽しめる事を前提に模索する中で、地域活動に積極的に参加することに意義があると感じました。勝沼地域は夏にソフトバレー大会、春にニユースポーツ大会があり、毎年参加しています。年齢を問わないスポーツなので、幅広い年齢層の方々と知り合うことを楽しみにつながっています。人とのふれあいの中で、たくさんの方の知識が私の向上となり、人格形成の基になればと思います。行政で多種多様な学習の場を「受け皿」として提供してほしいと願っています。



楽しく・楽しむ

塩野洋子さん（大和町初鹿野）

職業柄、年代を超えて会話をさせていただくことが多く、楽しく仕事をしています。体が動く気持ちも前に、何かを始めれば何かが生まれる。そんな思いで、まず「してみる」から始まります。幸い頼もしい仲間がいて、今できること、身近なもので工夫しながら作る楽しさと達成感を味わいながら。また、週一回のジャズダンス、どの趣味も十数年が過ぎ、楽しいものです。還暦を迎え、友人に誘われ念願の楽器に出会い、レッスンは欠かさず通っています。年齢も増し、上達せず遅れがちですが、「練習は裏切らない」と実感し、できるだけ続けていきたいと思っています。今回のテーマ「わたしにとっての生涯学習」は、「生涯現役」でいることかもしれません！

9人の議員が市政を問う！



1	丸山 国一 議員	甲輝会	7 ページ
2	川口 信子 議員	日本共産党	8 ページ
3	廣瀬 明弘 議員	政和クラブ	9 ページ
4	相澤 俊行 議員	希望の風	10 ページ
5	黒川 武雄 議員	政和クラブ	11 ページ
6	矢野 義典 議員	公明党	12 ページ
7	岡部紀久雄 議員	政和クラブ	13 ページ
8	野尻 陽子 議員	希望の風	14 ページ
9	夏八木盛男 議員	政和クラブ	15 ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、[甲州市議会ホームページ上の会議録検索システム](#)をご覧ください。
いただくか、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。
掲載・発行はいずれも9月上旬の予定です。

一 般 質 問

6月定例会では、産業・教育・福祉・防災・基盤整備など
市政全般にわたり、6月19日・20日の2日間、一般質問が行
われました。
それぞれの内容を要約してお伝えします。



丸山 国一 議員

甲 輝 会

Q 大雪の実体験を今後どのように生かすのか

A 危機意識のさらなる向上を図っていく

問 2月の記録的な大雪の実体験から、災害、防災に対する市職員の意識向上が図られたと感じたが、今後、どのように生かしていくのか。

答 総務課長 市地域防災計画における行動マニュアル編を職員の手作りで作成する。また、危機管理やクレーン対応などをテーマとした職員研修を継続実施し、今後も非常時における初動対応や職員一人一人の危機意識のさらなる向上を図っていききたい。

問 大雪緊急対策事業費に約34億円の補正予算を計上したが、財政面への影響を問う。また、被災農家への支援に関し、担当部署の増員はあったのか。

答 財政課長 農業用施設「撤去」には地方負担額の8割が、「再建」には7割が特別交付税で措置されるが、確定していない。

め、不足分は財政調整基金と前年度繰越金を計上した。

人口減少問題
本市の対策は

答 総務課長 被害の大きさから、事務量も多く、臨時職員1人を配置した。

問 人口対策について、2040年度には全国の896市町村が消滅の危機に直面するという試算結果が発表された。本市もその中に含まれているが、どのような対策を講じていくのか。

答 市民課長 出生率の向上と子育て世代の移住対策を中心に、施策を展開していくことが重要となる。

問 JR塩山駅周辺などに優良な宅地を提供する支援体制の構築が必要と考えるが、見解を問う。



人口対策は最重要課題。子育て世代が住みやすいまちづくりが不可欠である

宅や商店の誘導に重点を置き、住宅が増えるような都市形成を目指していきたい。

問 今年度中に作成される「公共施設白書」はどのように活用されるのか。

答 管財課長 市保有の公共施設を総合的に把握し、財政運営と連動させながら管理、活用するため「公共施設等総合管理計画」策定の基礎資料として活用していく。

問 勝沼ぶどうの丘の管理運営について、PFIによるコンセッション方式導入をどのような手順で進めていくのか。

答 政策秘書課長 今年度中に議会へ関連条例を提出し、年度末までに実施方針の策定、特定事業の選定、PFI事業者の募集書類の作成を考えている。来年度はPFI事業者の選定から基本調印、契約書の議会承認まで進めていきたい。

問 市の設置する救護施設鈴宮寮の指定管理者制度導入の方向性を問う。

答 鈴宮寮長 条件として、現在、施設運営を行っている社会福祉法人を指定管理者として指定することで、経費の削減、サービス提供機能や専門性の強化が図られると考えている。

問 中学校普通教室へのエアコン設置について、運転するにあたりマニュアルの作成が必要ではないか。

答 教育総務課長 使用基準をしっかりと設け、適切な運用を図っていきたい。

川口信子議員

日本共産党



保護者の子育てと仕事の両立支援や、放課後における児童の健全育成を目的に運営されている学童保育

子ども・子育て
支援新制度
事業計画の策定は

A ニーズ調査結果を踏まえ今年度中に策定する

問 安倍内閣は、集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更を閣議決定により強行しようとしているが、市長の見解を問う。

答 市長 日本の安全に大きな影響を与える場合に限り行使を認めてもよいと思っているが、憲法解釈変更

更については慎重な議論が必要であると考えている。

問 合併算定替期間が終了し、5年間の激変緩和期間を経て一本算定になると、普通交付税の交付額にどのくらいの影響が生じるのか。

答 財政課長 平成25年度の交付額から試算すると、約9億9500万円が縮減される。

問 合併で面積が拡大したことにより、国は普通交付税の算定方法について、支所機能の維持を勘案すると聞くが、いかがか。

答 財政課長 支所数や自治体の面積等を考慮し、平成26年度からの3カ年で段階的に交付額を加算し、合併算定替と一本算定の縮減幅を圧縮することとしている。消防や福祉の経費を支援する交付額の加算がされる予定であるが、交付税がどの程度縮減されるのか、しっかりと試算を行い対応

していきたい。

問 子ども・子育て支援新制度について、国は「子ども・子育て会議」の設置を求め、事業計画の策定を義務付けているが、進捗よく状況を問う。

答 子育て支援課長 昨年12月に15人の委員構成で会議を設置した。事業計画については、昨年度に実施したニーズ調査の結果を踏まえ、平成27年度からの5年間で策定を行っていく。

問 子ども・子育て支援法の制定に伴い、児童福祉法の改定が行われ、学童保育の対象を小学校6年生まで引き上げ、基準を条例で定めることとされたが、どのように対応していくのか。

答 子育て支援課長 国の基準に必ず従うべき基準と参酌すべき基準がある。前者については特別な事情等がない限り遵守し、後者

については現状を考慮した基準を定めていきたい。

問 学童保育の利用状況と指導員の配置について、現状を問う。

答 子育て支援課長 13施設、定員485人に対し、入会児童数は426人、定員充足率は86・1割で、全児童の23・9割が利用している。指導員は全児童クラブに2人ずつ、規模の大きい塩山南、東雲の2クラブには3人を配置している。

大雪被害による
農家への支援策は

問 大雪による農業施設の被害状況と税の減免制度を問う。

答 産業振興課長 296戸の農家から延べ375件の被害申請を受けた。ハウスや棚の再建に向けては約82割の方に再建の意志があり、全力で支援していきたい。

答 税務課長 その年の収入が大幅に減少した場合において、市民税では農業収入の損害が平年の3割以上、国保税では4割以上となる場合は、条件により、所得割について減免を行う。

※1 合併後 10年間は旧市町村ごとに算定した普通交付税の総額が配分される(本市においては、平成18年度～27年度)
 ※2 合併11年目からは配分額が段階的に減額される(平成28年度～32年度)
 ※3 合併16年目からは一つの自治体として算定される(平成33年度以降)



廣瀬明弘議員

政和クラブ

Q 商工振興資金
貸付条例

資格要件と償還方法の見直しを

A 利用しやすい制度となるよう整備していく

問 市の融資制度である市商工振興資金貸付について、条例の資格要件に確実な連帯保証人が必要とあり、また、貸付金の償還方法は3カ月の据え置きとあるが、これらの規定は削除する必要があると思うが、見直しの考えはあるのか。

答 産業振興課長 据置期間については、運転資金や設備資金に合わせた見直しが必要と考える。連帯保証人については、金融庁の「経営者保証に関するガイドライン」の適用が開始されており、また、全ての利用者が県信用保証協会を利用している状況から、見直しを進めていきたい。

問 市小規模企業者小口資金の利用状況と、今後利用しやすくするための貸付条件の見直しについて、考えを問う。

答 産業振興課長 現在までに利用実績はないが、

条例内容の見直しを検討していく。商工振興資金や他の融資制度と併せて利用していただくことで、融資の幅も広がるものと考えており、本制度を広く周知していきたい。

問 市中小企業団体事業開発振興資金についても連帯保証人等の内容の見直しが必要ではないか。

答 産業振興課長 昨今の経済状況に合わせた内容の見直しを行っていきたい。

振り込み詐欺被害未然防止の取り組みは

問 本市においても振り込み詐欺による被害が発生しているが、未然防止を図るための取り組みは行っているのか。

答 総務課長 これまで同様、警察等の関係機関と連携を図る中で啓発に取り組む。昨年は防災行政無線

で20回に及ぶ呼びかけを行ったが、手口が巧妙化してきており、さらなる対策を講じていきたい。

問 JR塩山駅への防犯カメラの設置について、当初予算に防犯設備設計に係る予算が計上されているが、今後の整備計画を問う。

答 総務課長 施設管理と犯罪防止の観点から、防犯カメラを設置することとした。今年度は設計業務委託を行う。設置にあたり、

プライバシーの課題、法令整備等の検討、周辺地域との合意形成などを図ってきたい。

問 子どもの安全や農作物の盗難等に対応するため、自主防犯パトロール活動をさらに増やしてはどうか。

答 生涯学習課長 資料閲覧は学習室を設け閲覧できるが、児童・生徒の利用も多く、一般の方々に不便をかけている時期もある。今後は、会議室を資料閲覧室として開放できるように、改善を図っていきたい。

問 勝沼図書館には、

どうやワインに関する資料が日本一揃っているが、管理し、開示できる部屋がない。専門家や観光客に利用しやすい場所を設置する考えはないか。

答 総務課長 公安委員会の許可が必要となるが、公用車に青い回転灯を装着し、市職員も安全パトロールをしながら、業務に従事する仕組みを取り入れていきたい。

問 勝沼図書館には、

どうやワインに関する資料が日本一揃っているが、管理し、開示できる部屋がない。専門家や観光客に利用しやすい場所を設置する考えはないか。

答 生涯学習課長 資料閲覧は学習室を設け閲覧できるが、児童・生徒の利用も多く、一般の方々に不便をかけている時期もある。今後は、会議室を資料閲覧室として開放できるように、改善を図っていきたい。



犯罪抑止、事故防止に成果を上げる
青色防犯パトロール

相澤俊行議員

希望の風



市のシンボルでもある勝沼ぶどうの丘。PFIによるコンセッション方式の導入に向けた作業が進められている

Q 細心かつ大胆な財政計画を

A 持続可能な財政構造の構築に取り組む

問 平成24年度決算における本市の財政力指数と経常収支比率について、県内順位を問う。

答 財政課長 財政力指数は0.49で、県内27市町村では16番目である。また、経常収支比率は86.5割で、21番目、県内13市で

は8番目である。

問 中長期的財政計画を立て、細心かつ大胆な財政計画が必要と考えるが、市長の見解を問う。

答 市長 今年度に「第三次行政改革大綱」を策定し、具体的な数値目標を設定する中で、持続可能な財政構造の構築に取り組んでいきたい。

問 勝沼ぶどうの丘のPFIによるコンセッション方式導入について、アドバイザリー委託事業者を問う。

答 政策秘書課長 公益性、中立性を考慮する中で、民間企業ではなく、特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会に委託した。

問 勝沼ぶどうの丘には約2億4000万円の現金預金が累積内部留保として蓄えられているが、民間事業者に運営権等を付与した場合、取り扱いはどのようなのか。

問 学校給食費の公会計化実施に向けた計画は

答 ぶどうの丘事業管理者 将来の施設整備等のため新たな基金を設置して管理するのか、事業会計の存続または廃止を含め、今後検討していく。

問 定住促進住宅について、全ての住宅で単身者の入居が可能となるよう、条例の見直しを行い、20代、30代の若い女性の定住者を増やしていく考えはないか。

答 建設課長 近年、セキュリティ意識の高まりから、オートロック、防犯カメラ等の装備が標準となっている。内装等の大幅な改築が必要となるため、現時点では不可能であるが、将来的には検討していきたい。

問 学校給食費の公会計化に向けた計画を問う。

答 学校給食センター所長

来年度からの実施に向けて準備を進めている。一般会計に予算化することで、さらなる透明性の確保を図っていきたい。

問 地域包括ケアシステムの構築について、何を課題と捉え、新たな介護保険事業計画を策定するのか。

答 介護支援課長 給付費や保険料の推計、地域の互助や民間事業者のサービスの役割分担など、課題を5つの項目にまとめ、今後、医療、介護、予防、住まい、生活支援の各サービスが切れ目なく提供できるシステムの構築を進めていきたい。

問 教職員の長期無断欠勤事件について、再発防止に向けた取り組みを問う。

答 教育長 今まで以上に働きやすい職場づくりに努めるとともに、心の病の予防や早期発見、早期治療のため、教職員のメンタルヘルス対策を推進していく。

問 全国学力・学習状況調査結果の有効活用について、教育長の見解を問う。

答 教育長 結果を早急に分析し、学力向上や学習習慣の定着などに活用し、本市における学校教育の充実、改善を図っていきたい。

※1 指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い地方公共団体。「1」を超える団体は普通交付税の交付を受けない。

※2 県税や地方交付税等、使い道が自由な一般財源に対する、人件費や扶助費、公債費等の必ず支出しなければならない経費の割合。80割までが適正とされ、100割に近いほど財政にゆとりがない。



黒川武雄議員

政和クラブ

問 耐震診断の結果や園児数の激減などを総合的に勘案し、市はどのような考えなのか。

答 子育て支援課長 統合して新たな園舎を建設する場合、用地確保を含め、約3年を要する。また、耐震工事を実施する場合、設計と工事に約2年を要し、その間に園児がいなくなる状況が考えられる。耐震診

問 耐震診断の結果や園児数の激減などを総合的に勘案し、市はどのような考えなのか。

答 子育て支援課長 今年度は入園児が少なく、2年後にはほとんど園児がいなくなってしまう可能性がある。

問 両園の入所見数ほどのような状況なのか。

答 子育て支援課長 両園舎とも、震度6強程度の地震により、倒壊する危険性があるとの判定結果であった。

問 両園の入所見数ほどのような状況なのか。

答 子育て支援課長 両園舎とも、震度6強程度の地震により、倒壊する危険性があるとの判定結果であった。

問 断結果を見ても、子どもたちの安全を考えると、なるべく早い時期に他の保育所に移っていただくことが望ましいと考えている。

答 生涯学習課長 主に家屋等の対象物を現状変更する場合の許可基準や、対象物の管理、修理等に対する経費の補助、審議会の設置等について説明を行った。

問 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた今後のスケジュールを問う。

答 生涯学習課長 地元

問 断結果を見ても、子どもたちの安全を考えると、なるべく早い時期に他の保育所に移っていただくことが望ましいと考えている。

答 生涯学習課長 主に家屋等の対象物を現状変更する場合の許可基準や、対象物の管理、修理等に対する経費の補助、審議会の設置等について説明を行った。

問 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた今後のスケジュールを問う。

答 生涯学習課長 地元

問 断結果を見ても、子どもたちの安全を考えると、なるべく早い時期に他の保育所に移っていただくことが望ましいと考えている。

答 生涯学習課長 主に家屋等の対象物を現状変更する場合の許可基準や、対象物の管理、修理等に対する経費の補助、審議会の設置等について説明を行った。

問 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた今後のスケジュールを問う。

答 生涯学習課長 地元



多くのぶどう生産地関係者が集った「第1回全国ブドウサミット」(4月26日)

問 断結果を見ても、子どもたちの安全を考えると、なるべく早い時期に他の保育所に移っていただくことが望ましいと考えている。

答 生涯学習課長 主に家屋等の対象物を現状変更する場合の許可基準や、対象物の管理、修理等に対する経費の補助、審議会の設置等について説明を行った。

問 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた今後のスケジュールを問う。

答 生涯学習課長 地元

問 断結果を見ても、子どもたちの安全を考えると、なるべく早い時期に他の保育所に移っていただくことが望ましいと考えている。

答 生涯学習課長 主に家屋等の対象物を現状変更する場合の許可基準や、対象物の管理、修理等に対する経費の補助、審議会の設置等について説明を行った。

問 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた今後のスケジュールを問う。

答 生涯学習課長 地元

問 断結果を見ても、子どもたちの安全を考えると、なるべく早い時期に他の保育所に移っていただくことが望ましいと考えている。

答 生涯学習課長 主に家屋等の対象物を現状変更する場合の許可基準や、対象物の管理、修理等に対する経費の補助、審議会の設置等について説明を行った。

問 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた今後のスケジュールを問う。

答 生涯学習課長 地元

問 断結果を見ても、子どもたちの安全を考えると、なるべく早い時期に他の保育所に移っていただくことが望ましいと考えている。

答 生涯学習課長 主に家屋等の対象物を現状変更する場合の許可基準や、対象物の管理、修理等に対する経費の補助、審議会の設置等について説明を行った。

問 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた今後のスケジュールを問う。

答 生涯学習課長 地元

A 彼の保育所に移っていただくことが望ましい

Q 神金・大藤保育所の方向性と方針は

※ 文化財保護法に規定する文化財種別のひとつ。市町村が条例等により決定した伝統的建造物群保存地区のうち、特に価値が高いものとして国が選定したもの

矢野義典議員

公明党



今年度2学期から運用開始される新学校給食センター

Q 学校給食における食物アレルギー対策は

A 新たなガイドラインを作成中である

問 子ども・子育て支援制度の本格施行に向けて、新制度の目的である幼児教育の提供体制を確保するため、国の示す水準に基づき施設型給付をしっかりと支給できるようにすべきと考えるが、見解を問う。

答 子育て支援課長 今

後、国において施設型給付に係る細かい制度設計が実施される予定であり、国の水準に基づき、給付を行っていききたい。

問 現在、預かり保育を実施している私立幼稚園に一時預かり事業を確実に委託していくべきと考えるが、見解を問う。

答 子育て支援課長 要綱等の整備を行い、委託していききたい。

問 土曜教育の充実について、本市では県教育委員会が計画している学習支援事業を実施すると伺ったが、内容を問う。

答 教育長 今年度、県から学力向上フォローアップ事業の指定を受けた。市内6カ所の公民館を会場に、退職教員等に指導員を依頼し、土曜日の午前中を中心に月2回、長期休業中は他の曜日も活用しながら、小学校1年生から中学校3年生までの希望する児童・生徒を対象に、国語、算数、数学の補習を中心とした学習を年間33回実施する。

問 「域学連携」地域づくり活動の推進について、取り組みの検討、推進を提言するが考えを問う。

答 政策秘書課長 実践的な事業展開を図り、地域の課題解決、地域づくり、活性化について、大学との連携に積極的に取り組んでいきたい。

問 地域包括ケアシステムの構築について、関係機関の連携体制、在宅医療提供体制の整備、介護予防の充実など、本市の取り組み状況を問う。

答 介護支援課長 6月に市高齢者地域ケア会議を設置し、関係団体で困難事例に取り組む体制をスタートさせた。また、認知症ケアパスの作成を「第6期介護保険事業計画」と併せて実施する予定である。

問 学校給食における食物アレルギー対策について、文部科学省が発行した「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」の周知徹底を促す取り組みを提言するが、考えを問う。

答 学校給食センター所長 新学校給食センターはアレルギー除去食が対応可能な施設である。現在、「市学校給食センター食物アレルギー対応ガイドライン」を作成中であり、過日の臨

問 「域学連携」地域づくり活動の推進について、取り組みの検討、推進を提言するが考えを問う。

答 政策秘書課長 実践的な事業展開を図り、地域の課題解決、地域づくり、活性化について、大学との連携に積極的に取り組んでいきたい。

問 地域包括ケアシステムの構築について、関係機関の連携体制、在宅医療提供体制の整備、介護予防の充実など、本市の取り組み状況を問う。

答 介護支援課長 6月に市高齢者地域ケア会議を設置し、関係団体で困難事例に取り組む体制をスタートさせた。また、認知症ケアパスの作成を「第6期介護保険事業計画」と併せて実施する予定である。

問 デマンドバス実証運行の継続について、中長期的計画や取り組みを問う。

答 市民課長 利用者からは継続を要望する声が多く寄せられている。今後も市交通基本計画に基づき、利用しやすい公共交通体系構築に取り組んでいきたい。また、勝沼地域については、区長会とも今後協議する中で検討していきたい。

※1 大学生や大学教員が地域の現場に入り、地域の住民やNPO等とともに、地域の課題解決や地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化及び地域の人材育成に資する活動
 ※2 認知症の症状進行に合わせた適切な医療・介護サービスの提供の流れを標準的に示したもの



岡部紀久雄議員

政和クラブ

A

前向きに取り組んでいきたい

Q

山岳救助隊員に装備品の支援を

問 2年後から8月11日を「山の日」と制定することを国会で決定した。本市では13人の山岳救助隊員がボランティアとして、日常は各自の職業に従事しながら、救助訓練等に励み、有事の際には万全を期して出動体制を整えている。今後さらに、山岳救助隊の重要性が増していく中で、特に装備品の自己負担が非常に重く、課題となつていくが、支援策を問う。

答 総務課長 本市の魅力ある山々を観光振興にも生かし、登山者が安心して入山できるよう、また、万が一の場合には隊員が任務をしっかりと果たせるよう、装備品の支援について、前向きに取り組んでいきたい。

問 新学校給食センターに寄せる市民の期待は大きい。衛生管理と運営方針について、考えを問う。

答 学校給食センター所長

文部科学省より示された学校給食衛生管理基準を基に、汚染作業区域、非汚染作業区域、その他の区域に分かれた施設となつている。また、ドライシステムを取り入れるなど、十分な衛生管理を実現するとともに、調理員が衛生的で快適な調理が行える環境となつていく。児童・生徒には安心して給食を提供できるように努めていく。

空き家台帳の作成とバンク制度の周知を

問 空き家が増加傾向にあり、近隣住民が不安感を抱くケースが増えている。対策として、空き家台帳を作成し、地域の方々の理解や協力をいただきながら、所有者のプライバシーも考慮した中で活用していくことを提案する。また、空き



2年後から8月11日が「山の日」と制定された。本市の魅力ある山々を観光振興にも生かしていきたい

家バンク制度の周知も必要と考えるが、見解を問う。

答 市民課長 4月から区長、市消防団員に協力いただく中で空き家の調査を開始し、台帳作成に向けた作業に取り組んでいるところである。放置家屋、危険家屋については、関係各課と連携を図りながら対策を協議していく。また、空き家バンク制度については、今後、市ホームページ上に、人口対策に特化したサイトを立ち上げ、周知に努めていきたい。

問 県道の改良工事に伴い、電線類の地中化が進められ、街路灯や防犯灯の設置が困難となる場所が発生している。県道塩山・勝沼線仲沢付近と県道万力・小

屋敷線青橋付近は、市街地中心部へ入る玄関口であるが、非常に暗いイメージである。安心・安全の観点からも対応が必要と思うが、照明設置の考えはないか。

答 総務課長 道路管理者である県が設置する照明については、交通の安全を確保するための街路灯を交差部分に限り設置しているのが基本となっており、歩行者の安全対策を目的とした照明の設置については、防犯灯などでの対応が必要となる。全ての工事が終了してからでは工事に無駄が生じるため、今後、具体的な箇所や設置の仕方などについて、地域とも協議した上で安全対策に取り組んでいきたい。

※1 根菜類等の処理等を行う検収室、食品の保管室、食品の剥皮・洗浄等を行う下処理室、返却された食器・食缶の搬入場等
 ※2 加熱調理や食品の冷却等を行う調理室、配膳室、食品・食缶の搬出場等
 ※3 更衣室、休憩室、事務室等
 ※4 床に水が落ちない構造の機械・器具等を使用し、床が乾いた状態で作業するシステム

野尻陽子議員

希望の風



地域公共交通は利便性の高いシステムづくりが求められている

Q 将来の財政運営についての見解は

A 経費削減を図り行政改革を推進していく

問 本市の財源の大部分を占める、地方税と地方交付税の最近の推移を問う。

答 財務課長 決算が確定している平成24年度の現年課税分の調定額を20年度と比較すると、個人市民税は12・8割減の1億9417万円余の減額である。法

人市民税は1・9割増の339万円余の増額である。固定資産税は国有資産等交付金を除く調定額が11・9割減の3億634万円余の減額となっている。

答 財政課長 普通交付税は、平成20年度交付額が41億2957万円、25年度交付額は48億6466万円余である。

問 本市の経常収支比率の推移を問う。

答 財政課長 平成20年度決算では83・1割、24年度決算では86・5割である。

問 平成20年度以降の大口出費は何か。

答 財政課長 6年間の合計で、負担金が、東山梨行政事務組合負担金35億3200万円余、後期高齢者医療広域連合負担金14億300万円余などである。繰出金は、下水道事業特別会計に44億300万円余、介護保険事業特別会計に25億

100万円余、国民健康保険事業特別会計に18億円余である。主な事業費は、小中学校施設耐震補強事業費18億100万円余、庁舎移転整備事業費16億6600万円余、中央公民館リニューアル事業費8億4900万円余などである。

問 平成26年度の借金総額の残高を問う。

答 財政課長 現時点の試算では、一般会計、特別会計、企業会計等を合わせた総額の現在高は、393億円余となる見込みである。

問 将来負担比率はどのように変化しているのか。

答 財政課長 平成20年度では178・6割、24年度では121・3割である。

問 一般会計における市債の元利償還金のピークはいつ頃なのか。

答 財政課長 現時点の試算では、平成31年度で、返済額は26億円余となる見

込みである。

問 将来の財政運営について、市長の見解を問う。

答 市長 指定管理者制度の活用や民間委託の推進による経費や人件費の抑制、事業の優先順位の徹底による市債の借入抑制など、コスト意識の徹底による事務経費削減などで改善を図り、全庁一丸となって行政改革を推進していきたい。

デマンドと定時路線バス利用状況と経費は

問 デマンドバスと各定時路線バスの利用状況と経費を問う。

答 市民課長 平成25年度のデマンドバス利用者は延べ2万6169人で、経費は約5794万円である。また、定時路線バス利用者は延べ12万23人で、経費は約6585万円である。

問 デマンドバス利用者を増やすため、具体的な数値目標を設定してはどうか。

答 市民課長 できるだけ努力はしていくが、当面の基本的なスタンスは、定時路線バスとデマンドバスを組み合わせた地域公共交通の継続である。

* 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合。政令市を除く市は350歳を超えると早期健全化団体となり、国に健全化計画を報告しなければならない。



夏八木盛男議員

政和クラブ

フルーツラインに案内板の設置を

優先した整備を進めていきたい

問 本市は地理的、気象的な条件により、土砂災害が発生する恐れがあると感じている。国、県に要望し、砂防工事を実施しているが、今年度の砂防堰堤工事箇所を問う。

答 建設課長 大和地域の日川、塩山下萩原地区の深堀川の2カ所で工事に着手している。

問 土砂災害ハザードマップに土石流、急傾斜地、地滑り等の危険箇所が掲載されているが、河川を含め、どのような手順で防災工事を実施するのか。また、市が実施している消火栓水路の整備計画を問う。

答 建設課長 土砂災害危険箇所は535カ所、砂防指定河川は100河川が指定を受けており、県、市により危険度の高い順に選定している。また、市の管理する河川、水路については、地域の要望も多いため、

緊急性の高い順に予算の範囲内で工事を実施している。

問 防災行政無線は荒天時に室内では聞き取り難い状況である。市は携帯電話やパソコンへのメール配信サービス等を行っているが、現在までの登録者数を問う。

答 総務課長 4月からメール配信サービスを開始したが、6月1日現在の登録者数は571人と低調な状況であり、多くの方に登録をお願いしたい。

問 「花子とアン」は視聴率が非常に高く、甲州弁も話題となっており、本市においても観光客の増加が期待される。観光振興の観点からも各種事業の展開を提案するが、考えを問う。

答 観光交流課長 観光振興を図る上で、これらの要素を追い風と捉え、すでに首都圏へ向けた甲州市・夏のイメージポスターには「てっ！うまいじゃん。至

福のフルーツ。果樹王国甲州」のロゴを入れ、好評をいただく中で甲州市ブランドのPRを行っている。

問 フルーツラインは観光振興の観点からも重要な道路であり、案内板による市のおもてなしを表すことも必要である。早急な設置を要望するが、考えを問う。

答 都市整備課長 観光立市を掲げる本市において、本市の特性を感じ取れる道路であり、優先した整備を進めていきたい。

問 市内の飲食店、宿泊施設等において、酸化したワインが提供されることがある。生産地としてのイメージダウンが懸念されるが、市はどのように指導、助言を行っているのか。

答 産業振興課長 ワインの適正な管理方法やおいしい味わい方を主体的に学ぶことが必要である。飲食店等に対し、ワインの知識や楽しみ方に関する啓蒙活動に努めていきたい。

旧勝沼庁舎
取り壊しの時期は

問 旧勝沼庁舎は今年度中に取り壊されるが、具体的な工期を問う。

答 管財課長 ぶどうまつり、フルーツマラソンが10月に開催される。また、地元区長との協議の中で、ぶどう収穫後の要望があったことから、解体工事は11月から来年2月までの4か月間を予定している。



観光振興を図る上でフルーツラインへ案内板設置を
求める声がある

集団的自衛権 閣議決定での容認に反対する請願

委員会では賛成多数により採択

総務常任委員会を6月10日、25日に開催しました。

主な審議内容を要約してお伝えします。

●6月10日開催

■平成26年度甲州市一般会計補正予算(第2号)

問 大雪による有害獣防護柵の被害状況等を問う。

答 財政課長 市内防護柵管理組合13組合中、10組合からの被害報告を受けた。被害規模は、門扉8基、ネット130枚、電気柵の発生器4基、電気柵の金網等298枚、倒木の伐採8本

である。

●6月25日開催

■甲州市税条例等の一部を改正する条例制定について

問 税率改正により、法人税割額は約1800万円の減収が見込まれる。軽自動車税については、来年度から税率が上がる原付等の二輪車両と小型特殊自動車約690万円、四輪車両は約4300万円の増収が見込まれる。

答 財務課長 法人税割額は約1800万円の減収が見込まれる。軽自動車税については、来年度から税率が上がる原付等の二輪車両と小型特殊自動車約690万円、四輪車両は約4300万円の増収が見込まれる。

問 国庫支出金に「がんばる地域交付金」約7000万円が配分されているが、内容と活用方法を問う。

答 財務課長 財力が弱い市町村が実施する地域活性化事業に対する交付金であり、道路維持、市単水路改修等の事業に活用する。

れる。

■平成26年度甲州市一般会計補正予算(第3号)

問 国庫支出金に「がんばる地域交付金」約7000万円が配分されているが、内容と活用方法を問う。

答 財務課長 財力が弱い市町村が実施する地域活性化事業に対する交付金であり、道路維持、市単水路改修等の事業に活用する。

■集団的自衛権行使を閣議決定で容認することに反対する意見書の提出を求め

る請願

意見 閣議決定による行使容認には反対であり、本請願の採択に賛成する。

意見 現在、国においても議論されており、さらに深く研究すべきと考え、継続審査を求めらる。

※本請願は採決の結果、

賛成多数で「採択すべきもの」と決しました。

■憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認に反対する意見書提出を求める請願

※本請願は採決の結果、賛成多数で「継続審査すべきもの」と決しました。



税率改正により、来年度から軽自動車税が引き上げられる

救護施設・鈴宮寮 来年度から指定管理者制度を導入予定

教育民生常任委員会を6月24日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市児童センター設置及び管理条例及び甲州市放課後児童健全育成条例の一部を改正する条例制定について

問 菱山児童クラブの利用者見込みを問う。また、指導員は何人配置するのか。

答 子育て支援課長 10人程度の利用者を見込んでいる。指導員については、2人を配置する予定である。

■甲州市鈴宮寮設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

問 指定管理者制度の導入に向けた今後のスケジュールを問う。

答 鈴宮寮長 8月からホームページ等により候補者を募集し、10月までに選定を行う。その後、12月議会に指定についての議案を提出し、来年4月からの制度導入を予定している。

■平成26年度甲州市一般会計補正予算(第2号)

■平成26年度甲州市一般会計補正予算(第2号)



来年度からの指定管理者制度導入を予定している
鈴宮寮

大雪災害による被害対策と

支援策に議論が集中

建設経済常任委員会を6月10日、24日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

●6月10日開催

■平成26年度甲州市一般会計補正予算(第2号)

問 大雪により被害を受けた有害獣防護柵の復旧に係る経費については、どのように積算したのか。

答 産業振興課長 標準的な単価で、完成後の金額を見込んで積算した。

問 防護柵の被害状況調査報告について、今後、被

害報告が増える可能性はあるのか。

答 産業振興課長 各管理組合に現場を確認した上で報告をいただいております。今後、被害報告が増えることはないかと理解しているが、新たに報告があった場合には、相談に応じていきたい。

●6月24日開催

■平成26年度甲州市一般会計補正予算(第3号)

問 大雪により倒壊した農業用ハウス等の撤去に係る補助費用については、すでに交付が開始されているのか。

会計補正予算(第3号)

問 大雪により、各小中学校の雨どいや自転車置場が破損し、危険な状態であるが、復旧工事完了までの期間を問う。

答 教育総務課長 当初予算で3カ所について対応を進めている。残りの箇所については、今回の補正予算で順次整備していく。

問 学力向上フォローア

のか。

答 産業振興課長 国、県からの計画承認・割当内示通知が来ないと補助金交付申請などの手続きが実施できないため、交付の開始時期については現時点では不明確である。なお、業者への支払いができない場合には、上限額2000万円とする長期無利子融資を受けて対応していただくよう説明している。

問 いつ頃までに支援の開始を望んでいる方が多いのか。

答 産業振興課長 当然、「早ければ早い方がいい」という声が多数である。現時点では、主に施設の撤去費用についての意見が多いが、JAから融資を受けて対応していただきたいという説明しかできない状況である。

購入契約締結について

問 随意契約であるが、食器等の使用については、当初どのような計画だったのか。

答 学校給食センター所長 衛生面や作業の効率性などを考慮すると、昨年度に契約した厨房設備機器に適合した食器等を導入する必要があり、購入することになった。



大雪により被害を受けた有害獣防護柵
(写真は和町田野地区)

※お詫びと訂正 議会広報34号、8ページの平成26年度予算審議、農林水産業費の文中、新規狩猟免許取得者に対する取得費用の補助額に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。(誤) 1万2000円 ↓ (正) 1万1200円

表紙の写真



真夏の太陽が照りつける7月中旬。酷暑の中、勝沼サッカー少年団の元気なかけ声がグラウンドに響いていました。懸命にボールを追いかける子どもたちは、ワールドカップさながらの熱戦を繰り広げ、会場を盛り上げていました。

市議会を傍聴してみませんか

次回の9月定例会は、以下のとおり開催を予定しています。市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場へお出かけください。

●9月定例会の開催予定

8月27日(水)	午後 1時30分～	本会議(開会)
9月 5日(金)	午前 10時～	本会議(一般質問)
8日(月)	午前 10時～	本会議(一般質問)
10日(水)	午前 10時～	常任委員会
11日(木)	午前 10時～	常任委員会
16日(火)	午前 10時～	決算委員会
17日(水)	午前 10時～	決算委員会
18日(木)	午前 10時～	決算委員会
19日(金)	午前 10時～	決算委員会
24日(水)	午後 1時30分～	本会議(閉会)

※会期と日程は、定例会召集告示後の議会運営委員会で正式に決定し、市ホームページなどでご案内します。

なお、ご不明な点については、議会事務局までお問合せください。

■お問合せ 甲州市議会事務局 TEL 32-2111 内線331

甲州市ホームページで

市議会本会議の会議録が検索できます。

甲州市議会では、市民の皆さんに議会本会議で行われた質疑内容などを広くお知らせするため、市ホームページにおいて、会議録の検索及び閲覧システムを導入しています。

これまでのCATVによる録画放送や、各市立図書館に常設している会議録冊子と同様に、議会内容を知るための情報媒体としてご活用ください。

検索・閲覧方法は、甲州市ホームページのトップ画面上の「甲州市議会」をクリックし、続いて「会議録の検索と閲覧」をクリックしていただくと、検索・閲覧画面になります。

こうしゅう市議会広報『有料広告』を募集!!

(年4回発行 11,650部)

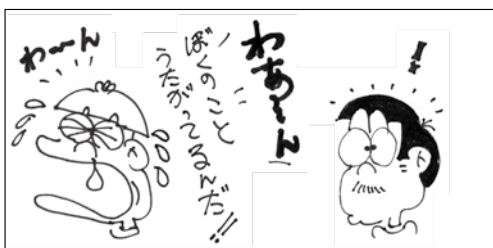
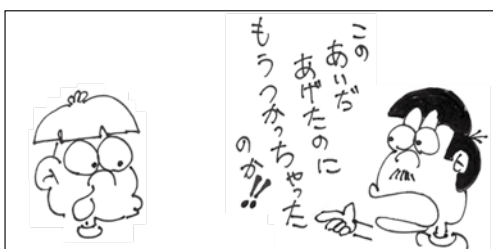
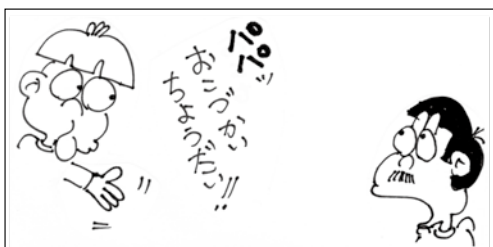
■甲州市議会では、市議会広報の紙面に掲載する有料広告を募集します。発行は、年4回開会される定例会(3月、6月、9月、12月)開会日の翌月末日の4回です。

■広告掲載料は1枠1回分につき10,000円です。

「甲州おどし」

No.32 「泣きおどし」

作・三森 清



こちら編集室

■猛烈な台風8号の動きにハラハラ。幸い当地では何事もなく済みましたが、自然の猛威の前に、人は無力。頭を垂れて祈るのみです。

■7月14日、新学校給食センターの落成式と見学会。ベルトコンベアー上には、長方形の鋳物の箱がズラリ。洗米と水が自動注入され、箱たちはトンネルに向う。トンネル通過の間、熱され、トンネルを出たらもうご飯が炊けている!

■徹底した衛生管理、多くの作業の自動化の工夫等、感心の連続でした。2学期からの稼動に備え、現場職

員は夏休み期間中に研修の日々。ごくろうさま!

- 市議会広報編集委員会 (N)
- 編集委員長 中村 勝彦
副委員長 岡村 武義
委員 平塚 義彦、岡口 陽子、川口 信子、野尻 信子、岡部 紀久雄、丸山 国一、相澤 俊行、黒川 明弘、廣瀬 弘